

平成 20 年度 地域のスポーツクラブの調査結果

長野県教育委員会事務局スポーツ課

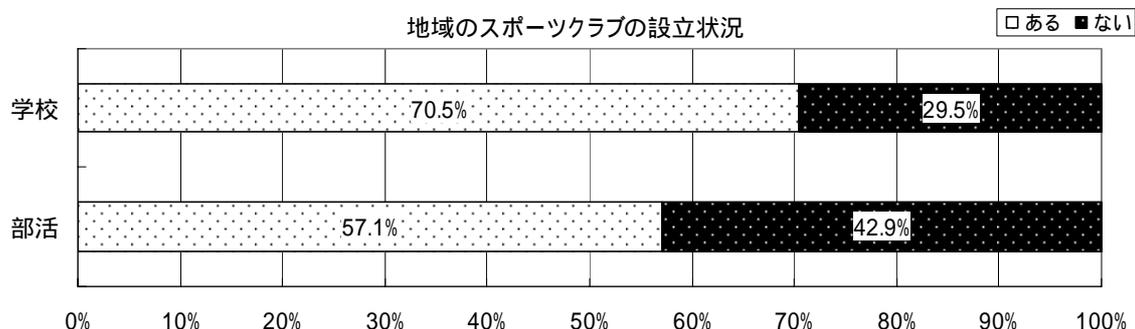
調査時期 平成 20 年 6 月 ~ 7 月
対象学校 県内公立中学校 193 校
調査方法 質問紙法

地域のスポーツクラブ(以下「クラブ」という.):

学校の教育活動の一環として行っている運動部活動ではなく、社会体育として実施しているクラブ、総合型地域スポーツクラブなどで、商業型スポーツクラブは除く。

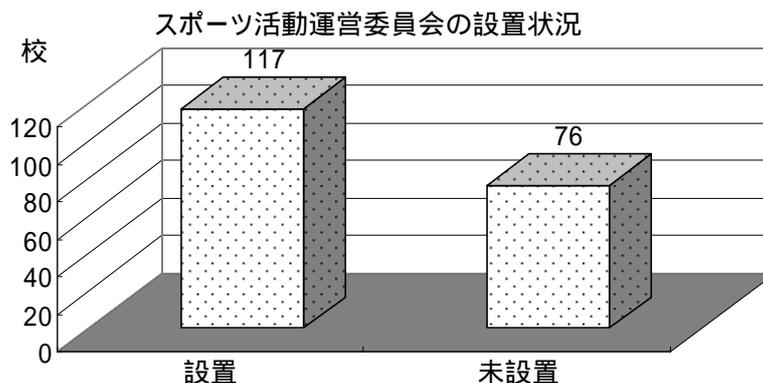
1 クラブとして活動している運動部がありますか？

平成 20 年度、長野県では、193 校の中学校のうちの 136 校(約 71%)において、クラブで活動している運動部があります。部活動の数で見ると、1,411 部のうちの 806 部(約 57%)がクラブとして活動していることとなります。

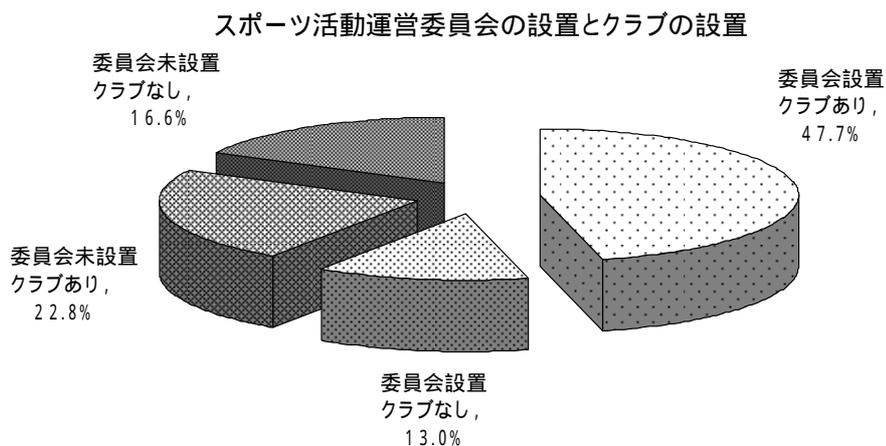


2 スポーツ活動運営委員会が設立されていますか？

193 校の中学校のうち、117 校にスポーツ活動運営委員会(以下「委員会」という。)が設置されています。(21 年 1 月現在 126 校)

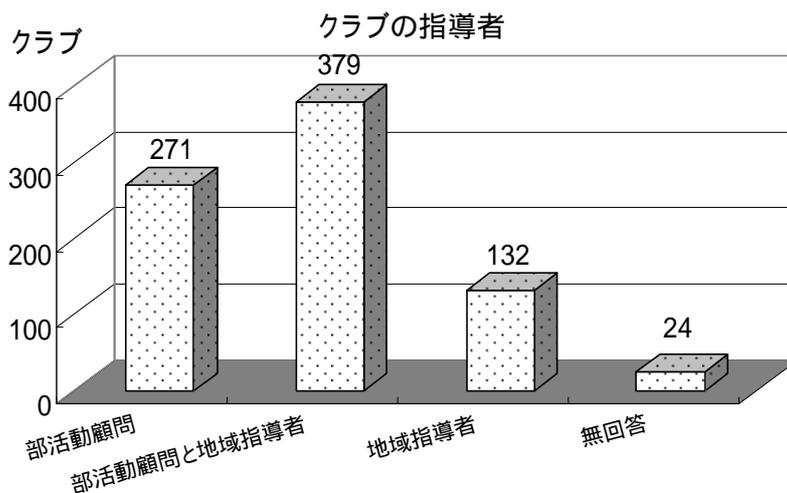


委員会を設置してクラブの活動を行っている学校は92校（約48%）で、委員会を設置せずにクラブの活動を行っている学校が32校（約23%）ありました。

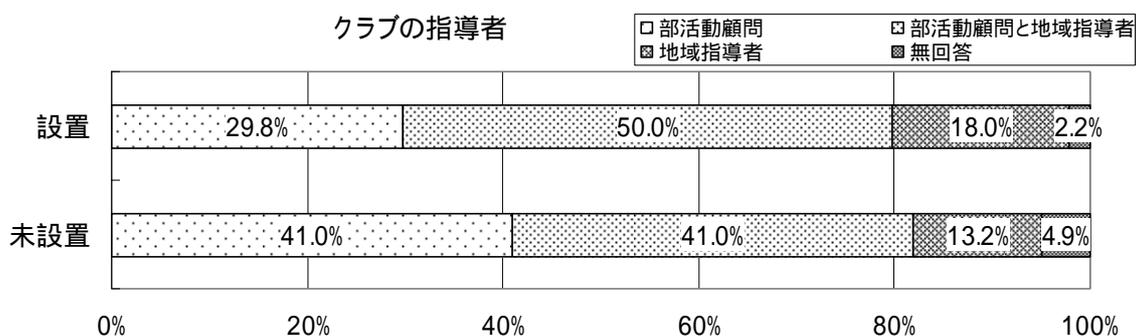


3 クラブは誰が指導していますか？

部活動顧問と地域指導者で指導しているクラブが最も多く、次いで、部活動顧問、地域指導者の順となっています。多くの地域の方々がクラブの指導をしてくださっていることがわかります。

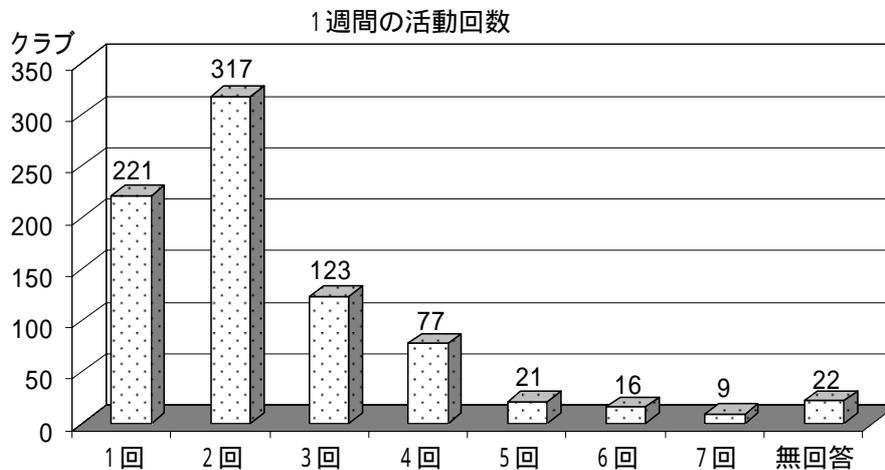


委員会が設置されている学校ほど、地域の指導者が関わる割合が高くなる傾向がみられます。

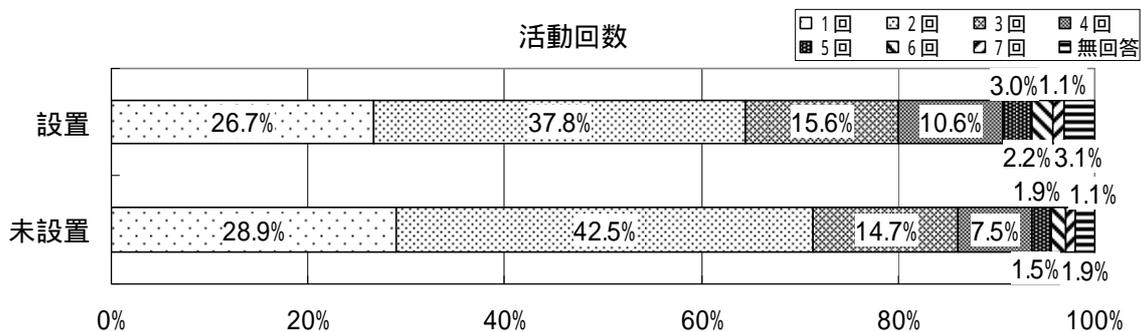


4 クラブとして、週何回活動していますか？

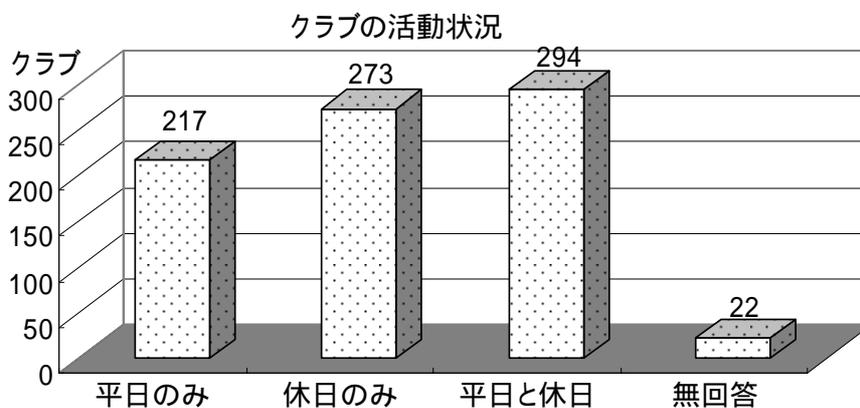
クラブとして活動する回数で最も多いのは2回の317クラブ、次いで1回の221クラブ、3回の123クラブとなっています。また、毎日活動しているクラブが9つ（陸上、軟式野球、バレーボール、新体操、柔道、アイスホッケー）あります。



委員会が設置されている学校のほうが、1週間の活動回数がやや多い傾向がみられます。

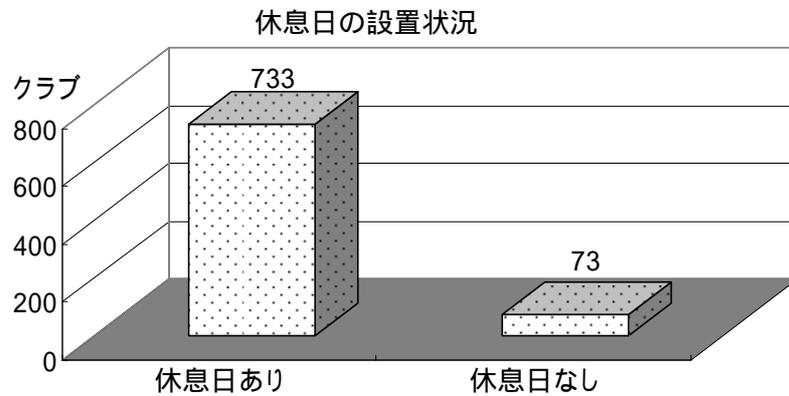


294クラブが、平日と休日の両方で活動しています。

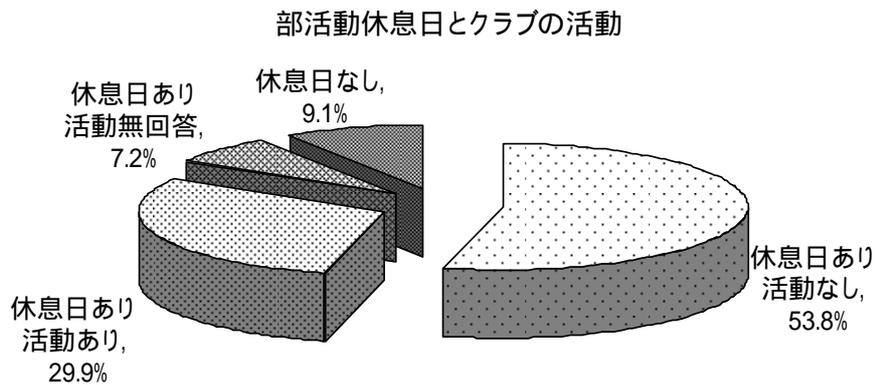


5 部活動休息日に活動しているクラブはどのくらいありますか？

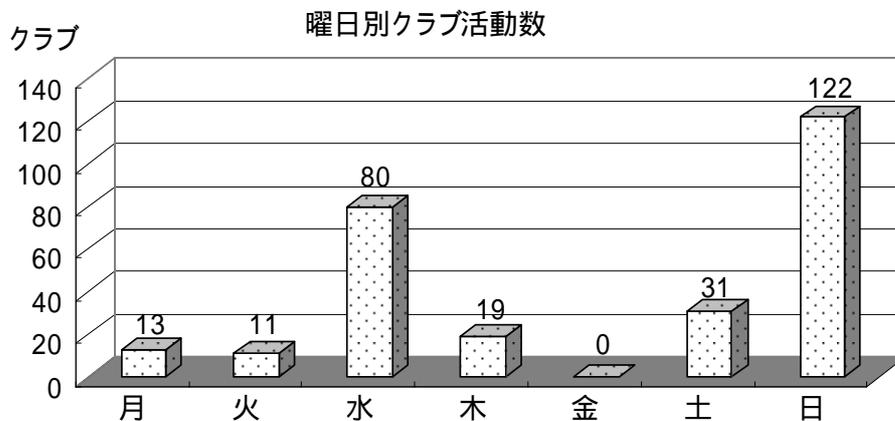
クラブとして活動する806の部活動のうち、733の部活動には休息日が定められています。



部活動として活動することのできない休息日に、クラブとして活動している部、約30%あります。

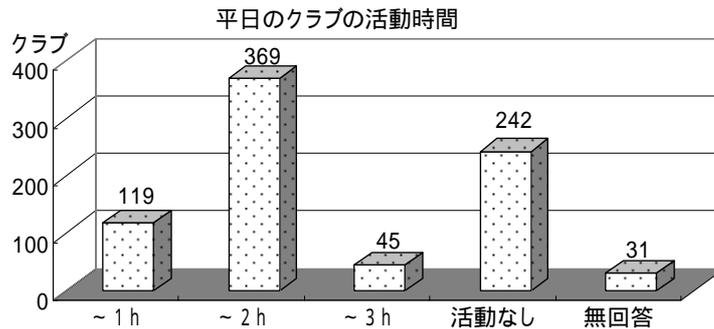


部活動の休息日のクラブ活動状況を曜日別にみると、水曜日と日曜日、そして、土曜日に活動しているところが多いことがわかります。

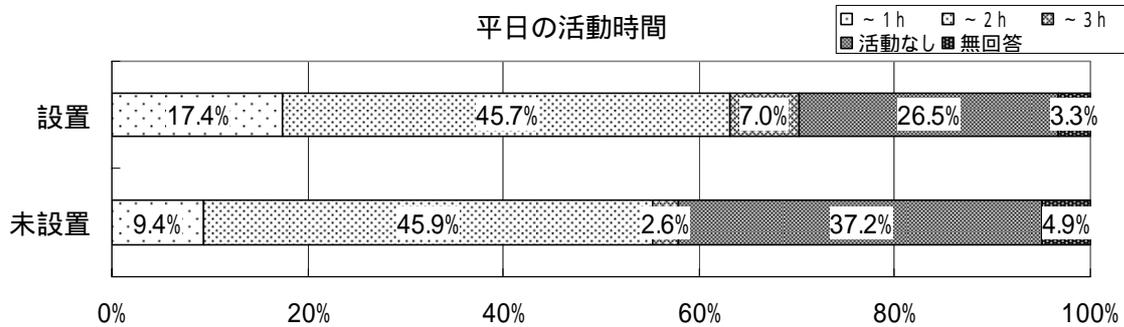


6 クラブとしてどのくらいの時間活動しているのですか？

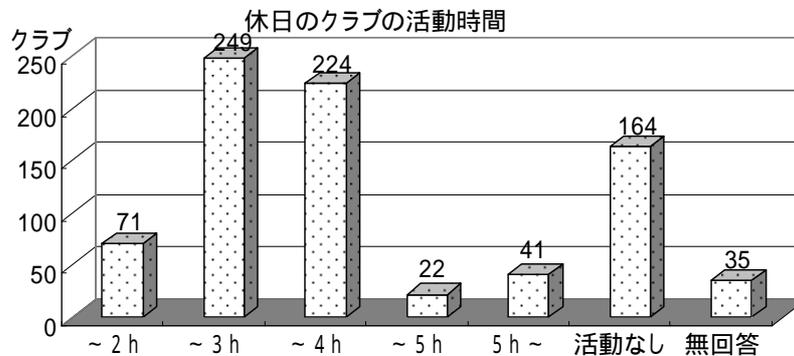
平日の活動時間で最も多かったのは2時間でした。



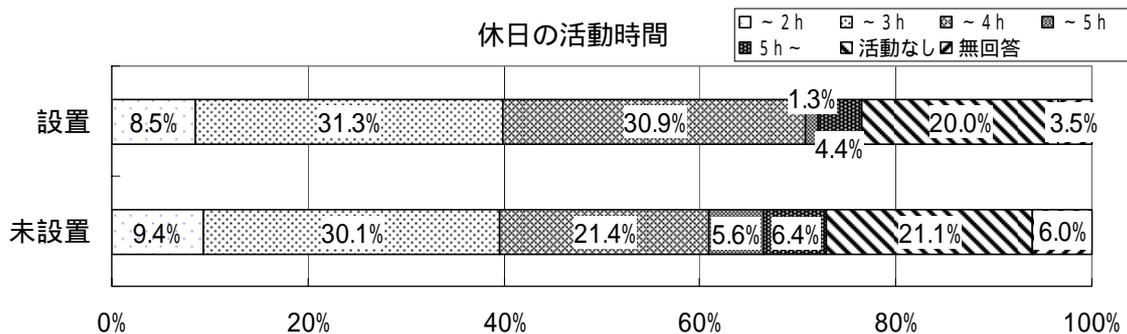
スポーツ活動運営委員会が設置されている学校のクラブのほうが、未設置の学校のクラブよりも、やや活動時間が長い傾向がみられます。



土・日の活動時間で最も多かったのは3時間で、次いで4時間でした。

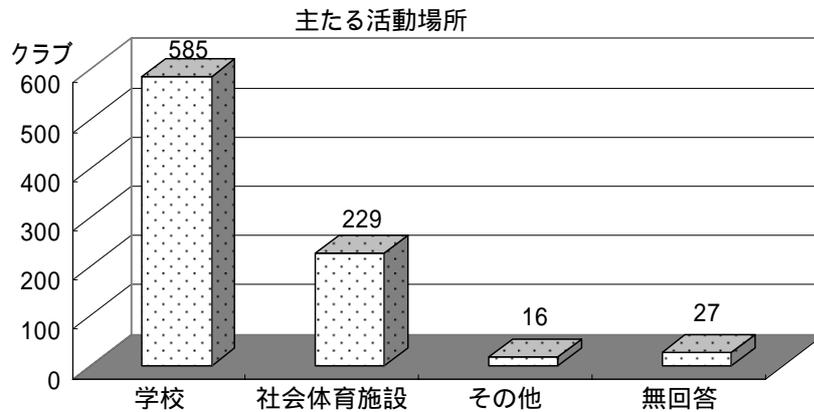


スポーツ活動運営委員会を設置している学校のクラブでは、未設置の学校と比べて、長時間活動するクラブ（5時間、5時間以上）の割合が低く、活動時間が短い傾向がみられます。



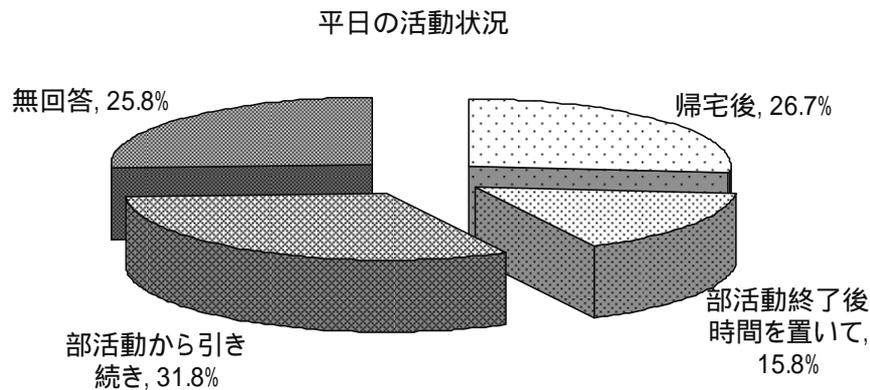
7 活動場所は主にどこになりますか？

学校施設を利用しているクラブが多いのですが、社会体育施設で活動しているクラブも多数あることがわかります。(複数回答可)



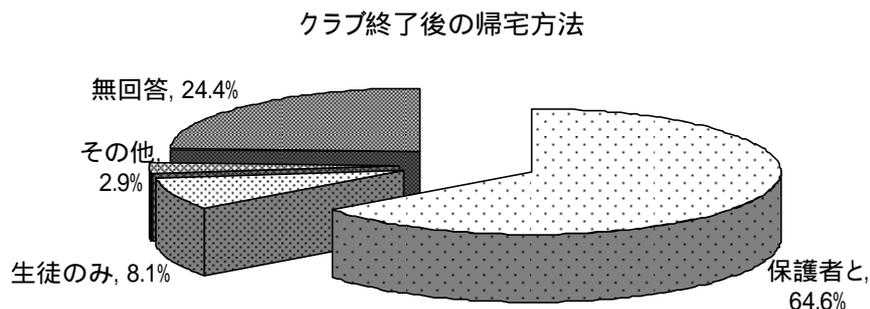
8 平日は、いつ活動をしているのですか？

平日の活動については一旦帰宅した後、再度、集まって活動するクラブは約27%、部活動終了した後、しばらく時間を置いてから活動するクラブが約16%となっています。約43%のクラブが、部活と分けて活動していることが分かります。



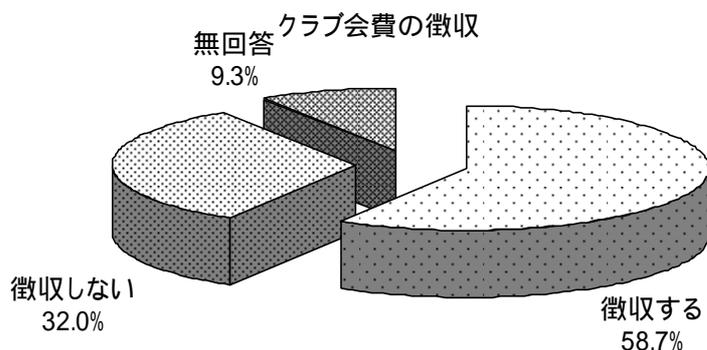
9 平日、クラブ終了後の帰宅方法は怎么样了か？

平日は帰宅時間が遅くなるため、保護者と一緒に帰宅するクラブが約65%あります。



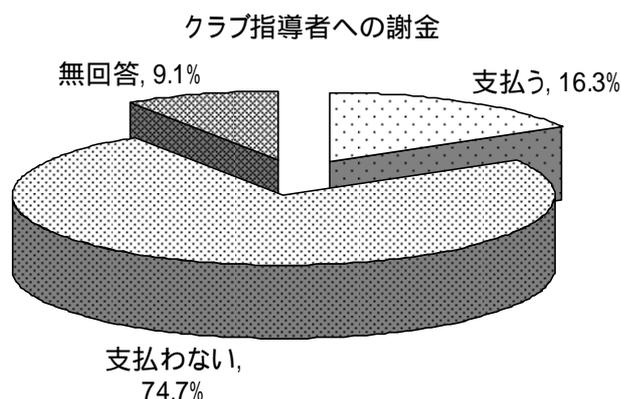
10 会費は徴収していますか？

約59%のクラブが会費を徴収しています。



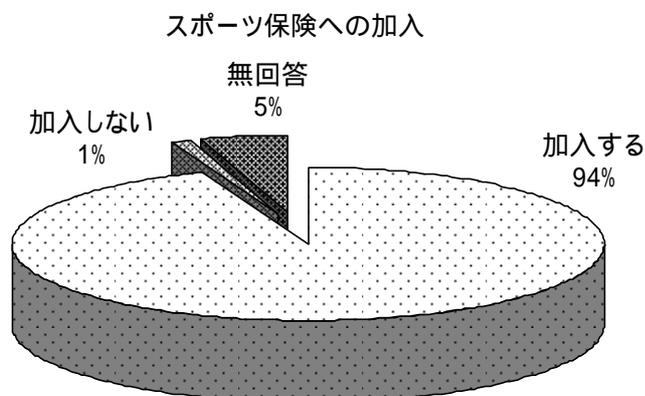
11 指導者に謝金を支払っていますか？

指導者に謝金を支払っているクラブは約16%でした。クラブ指導者の多くは、ボランティアとして活動していることが分かります。



12 スポーツ保険に加入していますか？

約94%がスポーツ保険に加入しています。ほとんどのクラブが保険に加入していることが分かります。



考 察

スポーツ活動運営委員会の設置

- ・長野県内、193校ある中学校のうちの117校において、スポーツ活動運営委員会が設置されている。
- ・部活動以外に地域のスポーツクラブとして活動している学校のうち、92校にはスポーツ活動運営委員会が設置されているが、44校は未設置である。

長野県では、適切な運動部活動の実施に向け、各中学校の部活動の抱える諸問題について協議・検討することのできる場として、中学校区ごとにスポーツ活動運営委員会を設置するよう呼びかけてきた。また、スポーツ活動運営委員会の中で、地域のスポーツ活動のめざす方向について共通理解を図ったり、生涯学習の一環としてのスポーツ活動を保障する方法を検討したりするよう、お願いしてきた。

今回の調査結果より、委員会設置校が未設置校よりも地域の指導者の活用が進んでいることがわかった。しかし、1週間の活動頻度や1回当たりの活動時間をみると、両者の間に大きな差は見られず、地域のスポーツクラブの適正な運営のために、設置されたスポーツ活動運営委員会が十分に機能しきれていない現状が明らかになってきた。

今後は、未設置校に対して委員会の設置のお願いをするだけでなく、設置済みの学校に対しても、有効な委員会のもち方について、市町村教育委員会と連携しながら支援していく必要がある。

部活動休息日

- ・クラブとして活動する806の部活動のうち、学校が休息日を定めている部活動が733ある。
- ・全体の約30%に当たる241の部活動は、部活動休息日にクラブとして活動している。

多くの学校では、週に1回の部活動休息日を定めている。会議等のため、部活動顧問が指導できず、休息日と定めているところもあるようだが、1番の趣旨は、活動に関わる生徒・顧問の過度の負担を軽減し、健康を守るということにあり、生徒を家庭に返すということにある。

今回の調査結果からは、学校が定める部活動休息日に、クラブとして活動しているという実態が見えてきた。部活動においては、生徒・保護者・地域指導者それぞれのニーズを満たすことも大切ではあるが、それ以上に、健康を含めた、負担の軽減に思いを寄せることが大切になる。

部活動と地域のスポーツクラブと名称は違っても、活動する生徒、指導者が同じ場合が多いことが、今回の調査からはっきりとしてきた。部活動と地域のスポーツクラブを異なるものとしてとらえるのではなく、両者の活動の適正な運営を模索していく必要がある。